

# (11) 総合的な学習の時間 全体計画

【第1の目標】(学習指導要領) 探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通じて、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを旨とする。

【学校の教育目標】 自律・挑戦・対話の意志を持って主体的に生きる生徒の育成  
 (1) 自ら考え、判断し、行動する生徒  
 (2) 他者を尊重し、協働・対話する生徒  
 (3) 豊かな発想で挑戦し続ける生徒

【生徒の実態】  
 ○あいさつがよく、礼儀正しく対応できる  
 ○素直で落ち着いているが、低学力層の存在  
 ○物事への対応がやや依存的であり、主体性や自主性を伸ばす必要がある

【保護者の願い】  
 ○良好な人間関係の構築  
 ○基礎的・基本的な知識及び技能の定着  
 ○思考力、判断力、表現力の育成  
 ○健康で安全な生活

【地域の実態】  
 ○観光産業の衰退が顕著  
 ○地域とのつながりや連携性が高い  
 ○学校教育に対する関心・理解がある

【地域の願い】  
 ○自分たちの地域や産業、文化等に誇りをもつ  
 ○豊かな人間性を身に付けている  
 ○地域と積極的に関わり、行事等にすすんで参加する

## 【総合的な学習の時間の目標】 『自己を見つめ、他人の幸せを守りながら対話を通して、地域社会を創造できる生徒の育成』

探求的な見方・考え方を働かせ、片山津地区のもの、ひと、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら対話的に課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
加賀市の「もの、ひと、こと」に関わる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。	加賀市の「もの、ひと、こと」の中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。	加賀市の「もの、ひと、こと」についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、対話を通して「未来あるまち・加賀市」を実現するための行動を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

【内容】 <目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力>

学年	第1学年(50時間)	第2学年(70時間)	第3学年(70時間)
探究課題	「好き」を育み、「得意」を伸ばす (個人探求活動)	加賀市の未来を見つめ、「住みよいまちづくり」に主体的に参画し、「未来あるまち・加賀市」の創り手となり得る(まちづくり)	
	個人の興味・関心を重視した課題の発見・個人探求	地域が抱える課題の解決と、地域への貢献	まちづくりを担う持続可能な社会の創り手として
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	知識の概念化 ・個人の興味・関心を軸としながらワクワク感を持ち、答えの無い問いに対し、主体的に解決するための具体的な方法を考えることができる。	
	知識及び技能	技能の身体化 ・調査活動や情報収集、目的や相手に応じたふさわしい関わり方など、フィールドワークを通して、それらの手順を様々な場面や状況で活用可能なものとして身体化し、安定的に発揮することができる。	
	知識及び技能	探究的な学習のよさの理解 ・課題解決に向けて必要なことを自ら考え、探究を自律的に進めることができる。 ・各教科等で身に付けた知識及び技能等を総合的、教科横断的に活用・発揮することで、学習が深化するよさを理解することができる。(STEAM教育)	
思考力、判断力、表現力等	課題の設定	・自身の興味・関心について理解を深め、課題を設定することができる。	
	情報の収集	・目的に応じてICT機器及び新聞記事(NIE)の手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積することができる。	
	整理・分析	・ICT機器及び新聞記事(NIE)の効果的活用を通して、問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見つけることができる。	
	まとめ・表現	・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じてプログラミング的思考を身に付け、物事の「目的」を合理的に捉え、表現することができる。(STEAM教育)	
学びに向かう力、人間性等	主体性・協働性	・自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとする。	
	自己理解・他者理解	・探究的な学習を通して自分の特徴やよさを理解するとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。	
	将来展望・社会参画	・進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、持続可能な社会の創り手として積極的に地域の活動に参加しようとする。	

【学習活動】  
 ・地域の実態、生徒の実態を踏まえ、探究課題を設定する。  
 ・地域の「もの、ひと、こと」を生かした学習活動を行う。  
 ・プログラミング的思考で物事を捉え、教科横断的な学習において身に付けた知識・技能を活用して表現することができる。(STEAM教育)  
 ・学習成果を表現する場として文化祭を活用する。  
 ・年間1テーマでの取組を基本とする。

【指導方法】  
 ・生徒の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。  
 ・個に応じた指導の工夫を行う。  
 ・体験活動を重視する。  
 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。  
 ・ICT及び新聞(NIE)により整理分析したり、まとめ・表現したりする学習を重視する。  
 ・協働的な学習を充実させるため、ICT機器、思考ツールを積極的に活用する。

【指導体制】  
 ・全校指導体制を組織する。  
 ・運営委員会における校内の連絡調整と指導体制を確立する。  
 ・体験活動・ワークショップ研修を重視する。  
 ・市教委からの支援・指導を受け、ICT機器の効果的な活用、プログラミングによる解決方法の確立を図る。(STEAM教育)  
 ・地域の教育資源をデータ化、教材化するとともに、日常的な関わりを行う。

【学習評価】  
 ・ポートフォリオを活用した評価の充実。  
 ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。  
 ・個人内評価を重視する。  
 ・指導と評価の一体化を充実する。  
 ・授業分析による学習指導の評価を重視。  
 ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。

## 【各教科等で育成する資質・能力】

国語	社会	理科	数学	外国語	美術
・社会生活に必要な国語の知識や技能 ・言語文化に対する親しみや理解 ・筋道立てて考える力や論理的に考える力、人とかかわりの中で伝え合う力 ・自分の思いや考えを確かなものとし、広げたり深めたりする力 など	・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関する理解 ・調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能 ・社会的な事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力 ・社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力 ・思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力 など	・自然の事物・現象についての理解 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力 など	・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などの理解 ・事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力 ・数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力 など	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解 ・これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりする力 など	・対象や事象を捉える造形的な視点についての理解 ・創造的な表現 ・主題を生み出し豊かに発想し構想を練る力 ・美術や美術文化に対する見方や感じ方 など
音楽	保健体育	技術家庭	特別の教科 道徳	特別活動	
・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、音楽の多様性についての理解 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能 ・音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと など	・各種の運動の特性に応じた技能 ・個人生活における健康・安全についての理解 ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考・判断し他者に伝える力 など	・生活と技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能 ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、の課題を解決する力 など	・課題解決に向けて主体的に活動するための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度 など	・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについての理解と行動の仕方 ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりする力 など (キャリア・パスポートの活用)	

## 【小学校や近隣の中学校、市内高等学校との連携】

【校区小学校との連携】  
 ・小学校で育成された資質・能力及び小学校での探究課題と学習内容を確認する。  
 ・ポートフォリオやキャリア・パスポートなどによる学習の記録の確実な引継ぎ。  
 ・片山津中学校の「総合的な学習の時間発表会」を校区内6年生に公開し、中学校の総合的な学習の時間への見直しをもたせるようにする。

【市内中学校との連携】  
 ・総合的な学習の時間の目標、内容、年間指導計画等の交流。  
 ・指導方法や学習評価の在り方の合同研修を行う。

【市内高等学校との連携】  
 ・中学校での総合的な学習の時間の目標、内容、年間計画等及び育成を目指す資質・能力の提供等  
 ・高等学校での取り組みの成果を共有